

# 2023年度 第83回細胞検査士教育セミナー

WEB配信 2023年9月15日(金)～10月2日(月)

実行委員長：熊本大学病院 柿沼 廣邦

## 教育講演 1 (60分)

「子宮腫瘍の病理と細胞診－WHO分類・取扱い規約5版から考える」

熊本大学病院 病理診断科 三上 芳喜 先生

## 教育講演 2 (60分)

「がん診療におけるがん細胞ゲノム情報の最新知見」

北里大学病院 呼吸器内科 佐々木 治一郎 先生

## 教育講演 3 (60分)

「膵胆道疾患にアプローチするための病理・細胞診断のポイント *Trend Review & Beyond Blue*」

自治医科大学附属病院 病理診断部 福岡 敬宜 先生

## 教育講演 4 (60分)

「WHO第5版に基づく胸部神経内分泌腫瘍診断の注意点と、  
高悪性度神経内分泌癌の分子サブタイピング分類について」

筑波大学医学医療系 診断病理学部門 松原 大祐 先生

## 日本臨床細胞学会技師賞記念講演 (60分)

「Pap スマアを用いた Microdissection による HPV 解析で得られた新知見」

杏林大学 保健学部 臨床検査技術学科 大河戸 光章 先生

## ワークショップ 1 「尿細胞診における検体処理」(60分)

「尿細胞診の標本作製について ー当院における変遷ー」

佐世保共済病院 病理診断科 田中 義成 先生

「従来法における推奨法の策定について」

神戸大学大学院 保健学研究科 病態解析学領域 大崎 博之 先生

「尿細胞診標本作製の現状と LBC の有用性」

千葉県立佐原病院 臨床検査科 病理検査室 須藤 一久 先生

## ワークショップ 2 「体腔液細胞診における検体処理」(60分)

「体腔液の検体処理と標本作製の標準化を目指して」

JCHO 埼玉メディカルセンター 病理診断科 鶴岡 慎悟 先生

「セルブロック法の標準化を目指して ー当院の現状と課題ー」

国立がん研究センター中央病院 臨床検査科 福原 萌 先生

「体腔液細胞診における直接塗抹法と SurePath 法の比較 ～標準化に向けた課題～」

兵庫医科大学病院 病院病理部 中西 昂弘 先生

## セルフアセスメントスライド (120分)

細胞検査士会学術委員会・精度保証委員会担当

司 会：柿沼 廣邦 (熊本大学病院)

問題・解説：小材 和浩 (福岡赤十字病院)

小穴 良保 (北里研究所病院)